



外来種から島を守ろう

07

種 富町の発電所近くの「種富湿原」、町内では唯一といってよい湿地です。またエゾゴゼンタチバナやソウヤイドウズムシなど、島内の他の場所ではいまだに確認されていない独特な生物相もみられ、貴重な環境といえます。しかし、いつの頃からか特定外来種であるオオハンゴンソウが周辺部から入り込んでしまい、長年



にわたっての駆除活動が島民によって続けられてきました。その成果もあって、現在では入口付近や道路脇などに抑え込んでいるところですが、まだまだ根絶にはみなさまのご協力が必要です。湿原観察も途中含めた防除会ですので、この機会に島の自然の中、いい汗をかいてみませんか！ご協力、どうぞお願いいたします。

オオハンゴンソウ防除会【日時】6/7 (土) 9:00 ~ 11:00。雨天・悪天の場合は中止いたします。【集合】9:00 に種富駐輪駐車公園。【定員・申込】15 名程度を予定。6/6 (金) までに、お電話（博物館・85-1411）にて、(1) お名前、(2) 前日～当日につながる電話番号、をお知らせください。メール申込も可能ですが、確認等が遅れることがありますので、ご了承ください。【持ち物・服装など】作業用の軍手または厚めのゴム手袋。ヨシ原や砂利などの足元が悪い中での作業となるため長靴などしっかりした靴や服装。当日の気象条件にあわせて、水分補給などの飲み物もぜひご用意ください。

博物館で保管される新聞たち

30
↓
28

新聞はその日の出来事を記録してくれている貴重な媒体です。博物館でも昭和 58 年に開館して以来、様々な形での新聞の保存作業を行ってきました。古い時代のものはコピーを、まれに他の資料の梱包材や、古ダンスに敷物として敷かれていたりするものもあり、利尻関連記事があれば保存もしてきました。当館開館以降は、北海道新聞や日刊宗谷を保存し、近年では検索のための見出しデータベースの整備も進めてきました。

今回の展示では、そんな新聞資料やそれに類似した資料を展示するとともに、当館の新聞保存に関する業務の簡単な紹介をしたいと思います。わずかなスペースとはいえ、実物資料を展示しますので、新聞の大切さを今一度見直す機会にしていいただければ幸いに思います。

第5回夏の移動展示「博物館所蔵新聞展」【期間・場所】① 鴛泊フェリーターミナル：6/30 (月)

夏の移動展示カレンダー

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- 鴛泊フェリーターミナル
- ホテル利尻（温泉）
- どんと（ホワイエ）
- 仙法志郵便局

～7/6 (日)、②ホテル利尻（温泉入口）：7/7 (月) ～7/13 (日)、③どんと（ホワイエ）：7/14 (月) ～7/21 (月)、④仙法志郵便局：7/22 (火) ～7/28 (月)。※展示の移動は展示初日の午前中に行う予定です。

都合にあわせて観察会

オンデマンド普及講座

決まった日付にみんなが集まって観察会もいいけど、仕事があったり、悪天で中止になったりと、なかなか参加できない・・・ということもよくあること。そこで、少人数向けに、参加者のご都合にあわせた観察会などを行う「オンデマンド普及講座」を昨年度から博物館は実施しています。今年度も探鳥会や仙中見学&お掃除・整理会などの、7つのテーマからお選びできますので、ご都合がこれま

であわなかったという方は、お気軽にお申し込みください。詳しいテーマについては、公式ホームページ掲載のポスターをご覧ください。



事業報告、あれこれ

<春の探鳥会> 4/29 の春の探鳥会は、雨のため中止となってしまいました。前後の日は比較的よかったけどとても残念ではありますが、またの機会にぜひご参加ください（オンデマンド普及講座もありますので、どうぞご利用ください）。当日、見学予定であった鳥類標識調査は、悪天日以外は調査を実施しており、ツグミやミソサザイなどに標識を付けることができました。森林公園で長年続けられている本調査ですので、時々、双眼鏡で覗いた鳥の右足（標識は必ず右足に装着されます）に銀色の金属足環が見られることがあります、そのほとんどは本調査によるものと思われます（まれに国外のものが見つかることもあります）。今回は付近をウロウロしていたハシブトガラがいたので写真を撮ってみると番号の一部を見



ることができました。過去のリストと照合してもらったところ、2020 年に同じ場所で放鳥されたものであることが判明し、なんと 5 年も生きていたことがわかりました。また、来年も会えるといいですね！ **<移動博物館>** 今年度の移動博物館も無事終了することができました。博物館で唯一稼働している蓄音機も試聴していただきましたが、初めて蓄音機による SP レ



一枚の写真

博物館ロビーの古時計は、「益田商店」よりかつて寄贈を受けた年代もの。同商店が現役だった頃の写真があればと思っていたら、先日、1984（昭和 59）年撮影の写真データを益田哲夫さんからいただくことができ、早速、時計の解説に写真を添えることができました。

コードの音を聞く方も多く、「音が結構大きいけど、これは電気使っていないんだよね」「おれのスマホより音がいいなあ～」などの感想をいただきました。また、今回はご当地ソングのジャケットなどを展示させていただきましたが、博物館で把握していない曲や、昔の思い出、有名歌手の来島時のエピソードなどを教えていただき、とても有意義な展示期間となりました。



掲示板

資料寄贈 ▼写真データ 2 点（益田商店・利尻空港）、4/17、益田哲夫。▼利尻高等学校創立 50 周年記念の朱肉 1 点、5/3、佐孝直美。▼市販品カセットテープ「利尻よ 礼文よ」1 点、5/7、正部川寛。▽貴重な資料のご寄贈、まことにありがとうございます。

傷病鳥 ▼シメ、4/22、仙法志・ほのぼの荘、俵屋隆浩。▼コシアカツバメ、4/23、杵形・夢交流館、小玉喜衛。▼ツバメ×2、4/30、杵形・夢交流館、小玉喜衛。▽どれも状況

からガラス衝突死と思われます。サンプルは今後標準予定です。

リイシリの購読・閲覧 博物館のホームページにて、最新号のほか、過去 2 年分のバックナンバーを公開中。発行時に配信する「発行お知らせメール」もありますので、ご利用ください。ネット環境がない方の場合、利尻町内の方には無料でお配りしているほか、町外の方には郵送料のご負担をいただければ定期購読も可能ですので、お気軽にお問合せ願います。

編集後記 レコードに限らず、8mm フィルムやベータマックス、などの様々なメディアが残る当館ですが、再生機器の寿命の方がはるかに短い・・・今後の課題です。（ま）



正部川寛さんから寄贈を受けた島内で販売されていたという「ご当地ソング集」のカセットテープ。タイトルは「利尻よ 礼文よ」。以下の 9 曲を収録：島を愛する、はまなすの詩集、利尻の女、カッコイイ奴、北海島音頭、利尻慕情、礼文情歌、北航路、宗谷岬。「カッコイイ奴」は当館未所蔵だったので、貴重な資料となりました。